

授業科目名	演奏/歌唱トレーニングⅡ		授業形態 / 必選	実習	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科Ⅱ部 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・2009年木村充揮を父に持つ木村俊章とロックバンド「BAHARANA」結成。 ・ジョニー吉長、内田勤太郎、寺岡呼人等大御所ミュージシャン・バンドと共演を重ねる。 ・2012年6月バンド活動休止後は、ソロアーティストとして活動中。 				
授業概要					
<p>【歌唱】ヴォイストレーニングで培った技術を、実際の歌唱に活かせるようにアプローチする授業です。 この授業を通して、チェストヴォイス～ミドルヴォイス～ヘッドヴォイスをスムーズに繋げられるようになることが目標です。</p> <p>【演奏】課題曲を使って楽曲のアナライズを行うことで、コード・スケール・リズムなどの楽曲の構造を理解します。 また、様々なリズムに対応することで、基礎的な技術からより高度な技術まで幅広い技術の体得を目指します。</p>					
到達目標					
<p>【歌唱】楽曲の中で、母音・子音の変化するスピードに対応できるようになり、歌唱技術と表現力が大幅にアップします。 また、新しいスケールである、ブロークンスケール・5TONEを使用することで、より密接に歌唱と連動させることができます。</p> <p>【演奏】課題曲毎にスケール・リズム考察を行うので、自身の音楽活動における作曲・アドリブプレイに応用出来るようになります。 また、多様なリズムパターンについてレッスンするため、アレンジやプレイにおけるリズムアプローチが多彩になります。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【歌唱】1オクターブ(ブロークンスケール)・5TONEスケールのトレーニング 【演奏】スケール・エクササイズ(メジャー・ナチュラルマイナー・ペンタニック)/課題曲①スローブルース
【前期】 5～8回目	【歌唱】1stブリッジのクオリティーを高めるための、広い母音(ア・オ)のトレーニング 【演奏】コード進行・スケールのアナライズ/スケール・エクササイズ/課題曲②スカ・レゲエのリズム
【前期】 9～12回目	【歌唱】1stブリッジのクオリティーを高めるための、狭い母音(イ・エ・ウ)のトレーニング 【演奏】コード進行・スケールのアナライズ/スケールを適用したフレーズ作成/課題曲③④ボサノヴァ・サンバのリズム
【前期】 13～16回目	【歌唱】1stブリッジ&2ブリッジを滑らかにつなげるための、課題曲を使用した母音トレーニング 【演奏】コード進行・スケールのアナライズ/ハーモニクスの原理と奏法/課題曲⑤ファンク 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	【歌唱】1stブリッジ&2ブリッジを滑らかにつなげるための、全ての母音のトレーニング 【演奏】リズム・グループ・アーティキュレーションのアナライズ/課題曲⑥ファンクビートの発展
【後期】 24～27回目	【歌唱】1stブリッジ&2ブリッジを滑らかにつなげるための、子音・母音のトレーニング 【演奏】リズム・グループ・アーティキュレーションのアナライズ/課題曲⑦16beatのソウルナンバー
【後期】 28～31回目	【歌唱】苦手な子音・母音・音域を分析し、個々にあった対応トレーニングの実践 【演奏】リズム・グループ・アーティキュレーションのアナライズ/16分音符・3音連符のオスティナートによるリズムエクササイズ 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	【歌唱】長時間の声帯閉鎖・喉頭の正しい位置の持続させ、持久力を獲得するためのトレーニング 【演奏】リズム・グループ・アーティキュレーションのアナライズ/5拍子・変拍子のリズムエクササイズ
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	現代ではJ-Popやアニソンにおいても、音楽理論上高度なテクニックが数多く使用されています。 課題に対する技術的な難易度は上がりますが、じっくりと取り組んで技術をものにしていきたいと思います。 また、様々なリズムパターンに取り組むため、普段から幅広くいろんなジャンルの音楽を聴くように心がけましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	演奏/歌唱ベーシックⅡ		授業形態 / 必選	実習	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科Ⅱ部 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・2007年 阪神若手音楽祭グランプリ受賞。2010年 河島英五音楽賞にて最優秀賞獲得。 ・2008年 シングル全国発売。ハドソン系着うたサイト インディーズランキング2位獲得。 ・2009年 GOING KOBE 09 出演。2010年 サマーソニック 2010 in東京 出演。 ・2012年 ユニット活動休止後、ソロ活動開始。 				
授業概要					
<p>【歌唱】既存曲から自由に選曲し、個々の歌唱力・客観性・楽曲に対する考察力を高めます。 1年次に培った基礎を下地に、更に実力を向上させ、個々のオリジナリティと様々な現場での対応力を磨きます。</p> <p>【演奏】現代のポピュラー音楽を理解し、演奏するために必要な知識と技術の習得を目指します。 課題曲を使って、楽曲のアナライズからフレーズ作りまで行うことで、総合的に演奏に応用できるようになります。</p>					
到達目標					
<p>【歌唱】ヴォイストレーニングで培ったテクニックを応用して、個々にあった歌唱表現が出来るようになります。 また、客観的に自身の歌唱を分析することで、オーディションやコンテスト対策としても活用することができます。</p> <p>【演奏】コードトーン、テンションコード、代理コード等を反復して学ぶので、どのようなジャンルの楽曲にでも対応できる知識とスキルが身につきます。また、インプロヴィゼーションやオリジナルの楽曲制作に役立てることが出来ます。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	<p>【歌唱】課題曲① 曲調・テンポ・ブレスポイント・メロディの確認/リズム・音程・アーティキュレーションの確認</p> <p>【演奏】Chord Tone Training (Maj7・m7) / Pentatonic Positions / Rock Coordination・Feet-Rudiments Exercise</p>
【前期】 5～8回目	<p>【歌唱】課題曲① 暗譜と表現力の向上/仕上げ 課題曲② 曲調・テンポ・ブレスポイント・メロディの確認</p> <p>【演奏】Chord Tone Training (Dominant 7th) / Harmonics / Rock Coordination・Feet-Rudiments Exercise</p>
【前期】 9～12回目	<p>【歌唱】課題曲② リズム・音程・アーティキュレーションの確認/暗譜と表現力の向上/仕上げ</p> <p>【演奏】Chord Tone Training (I VI II V) / Hm・Mm Diatonic Positions / Rock Coordination・RH/LF Diagonal Coordination</p>
【前期】 13～16回目	<p>【歌唱】課題曲③ 楽曲分析/問題点の克服/暗譜と表現力の向上/仕上げ</p> <p>【演奏】Chord Tone Training (minor II V I) / Dominant Motion / Rock Coordination・RH/LF Diagonal Coordination</p> <p>【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等</p>
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	<p>【歌唱】課題曲④ 曲調・テンポ・ブレスポイント・メロディの確認/リズム・音程・アーティキュレーションの確認</p> <p>【演奏】課題曲① 楽曲アナライズ / 記譜フレーズ / テンションコード / Feet-Rudiments Exercise</p>
【後期】 24～27回目	<p>【歌唱】課題曲④ 暗譜と表現力の向上/仕上げ 課題曲⑤ 曲調・テンポ・ブレスポイント・メロディの確認</p> <p>【演奏】課題曲② 楽曲アナライズ / 記譜フレーズ / コードトーンでのアドリブ / Feet-Rudiments Exercise</p>
【後期】 28～31回目	<p>【歌唱】課題曲⑤ リズム・音程・アーティキュレーションの確認/暗譜と表現力の向上/仕上げ</p> <p>【演奏】課題曲③ 楽曲アナライズ / 記譜フレーズ / コードトーンでのアドリブ / RH/LF Diagonal Coordination</p> <p>【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等</p>
【後期】 32～35回目	<p>【歌唱】課題曲⑥ 楽曲分析/問題点の克服/暗譜と表現力の向上/仕上げ</p> <p>【演奏】課題曲④ 楽曲アナライズ / 記譜フレーズ / ペンタニックの新たな使い方 / RH/LF Diagonal Coordination</p>
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<p>・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価</p> <p>・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)</p>
学生へのメッセージ	1年次に扱ったコードの世界を更に拡げていくために、理論的な知識を学びながら演奏のエクササイズをしていきます。多彩な「響き」を操って、自身の楽曲制作や演奏の質を大きく向上させていきましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	演奏/歌唱リズムトレーニングⅡ		授業形態 / 必選	実習	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科Ⅱ部 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・1975年「ボビー&リトル・マギー」でレコード・デビュー。「NASA」「Shogun」「Chicken Shack」などにドラマーとして参加。 ・1998年よりリズム&ドラム・マガジ誌にて「ドラマー立志風雲録」連載開始。 ・「60sドラム定番大百科」など、リットーミュージックより教則本も多数出版。 				

授業概要	
【歌唱】洋楽のブラックミュージックを通して、R&B・ディスコ・ファンク等、ブラックミュージックのグルーブを意識した歌唱法を学びます。 また、日本語曲も洋楽の曲がモデルになっている楽曲を取り上げ、日本語でのリズムアプローチを身につけます。	【演奏】世界中で演奏されている様々なジャンルに取り組みます。各ジャンルで反復したエクササイズを行いますので、リズム感の向上だけでなく、フィジカルトレーニングにも役立ちます。
到達目標	
【歌唱】リズムを意識した歌唱法が身に付くので、声の抑揚・フェイク・アドリブなどの幅広い表現歌唱を習得することができます。 また、リズム感を養うことで、本番でのパフォーマンス力の向上に繋がります。	【演奏】リズムに対してよりシビアな感覚が身につくので、単純なリズムもより明確にとらえられるようになります。 また、様々なジャンルに取り組むことで、各ジャンルの特徴的なフレージングやタイム感、グルーブ感などを習得できます。

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【歌唱】課題曲① 英語曲「スタンダードソウル」/リズムアナライズ /リズム楽器を使っの歌唱 【演奏】8beaのリズムを中心とした4小節フレーズの作成 / 8/12拍子のブルースのリズムエクササイズ
【前期】 5～8回目	【歌唱】課題曲② 日本語曲 リズムアナライズ /リズムに乗ったフェイクやアドリブの導入 小テストの実施 【演奏】16分音符・3連系リズムを交えた4小節フレーズの作成 / 1ドロップの典型的レゲエビートのリズムエクササイズ
【前期】 9～12回目	【歌唱】課題曲③ 英語曲「ディスコ・ファンク」/リズムアナライズ /リズム楽器を使っの歌唱 【演奏】8beaのバリエーションを交えた8小節のフレーズ作成 / ボサノヴァ・サンバなどのラテンビートのリズムエクササイズ
【前期】 13～16回目	【歌唱】課題曲④ 日本語曲 リズムアナライズ /リズムに乗ったフェイクやアドリブの導入 小テストの実施 【演奏】16分音符・3連系リズムを交えた8小節のフレーズの作成 / ディスコ系ファンクビートのリズムエクササイズ 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	【歌唱】課題曲⑤ 英語曲「クリスマスソング」/リズムアナライズ /リズム楽器を使っの歌唱 【演奏】Ⅱ-V進行でのスケールアプローチを用いたフレーズ作成 / JB'sスタイルのファンクビートのリズムエクササイズ
【後期】 24～27回目	【歌唱】課題曲⑥ 日本語曲 リズムアナライズ /リズムに乗ったフェイクやアドリブの導入 小テストの実施 【演奏】クロマチックアプローチを用いた交えたフレーズ作成 / シンプルなコードの4beat JAZZエのリズムエクササイズ
【後期】 28～31回目	【歌唱】課題曲⑤ 英語曲「現在のブラックミュージック」/リズムアナライズ /リズム楽器を使っの歌唱 【演奏】16分音符・3連系リズムを交えたフレーズの作成 / 6/8拍子のアフロキューバンビートのリズムエクササイズ 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	【歌唱】課題曲⑤ 英語曲「現在のブラックミュージック」/リズムに乗ったフェイクやアドリブの導入 / フルコーラス歌唱テスト 【演奏】リズムチェンジを交えたフレーズの作成 / 7/8拍子を含む変拍子のリズムエクササイズ
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	色々なリズムを経験することで音楽への知見が拡がり、ポキャブラリーやアイデアに広がりが出ます。 多様なアレンジの楽曲への対応力が身に付くので、作曲・アレンジ力、アドリブ力が養われます。 また、事前に課題となる音楽ジャンルの楽曲を聴いておくと、より理解が深まります。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	演奏/歌唱 分野別基礎実技Ⅱ		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	74回(148単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科Ⅱ部 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・2003年に「twenty4-7」を結成し、2007年にavexからメジャーデビュー。 ・シングル・アルバム通算15枚をリリース。 ・2012年9年間の活動を経て「twenty4-7」解散後、現在はソロとして活動中。 				
授業概要					
<p>【歌唱】J-POPの名曲を通して、歌唱の基礎からビブラートなどの高度なテクニックまで学びます。 また、レコーディングにおけるモニタリングやコミュニケーションの方法などを身につけ、現場で柔軟に対応できるヴォーカリストを目指します。</p> <p>【演奏】課題曲を通して、課題となるテクニックや奏法を習得していきます。また、撮影・録音を行うことで自身の演奏を客観的に捉え、自身の演奏の長所・短所を認識し、表現力のアップを目指します。</p>					
到達目標					
<p>【歌唱】歌唱の中で、細かな装飾やアーティキュレーションなどのテクニックを使えるようになるので、自身の個性や表現力が大きく向上します。 また、レコーディングを通して、作品に対する理解力・発想力・技術力を高め、各自の弱点・問題点を再確認することができます。</p> <p>【演奏】楽曲を分析・練習する中で、音楽理論などの具体的使用例を確認することができます。 また、客観的に自身の演奏を振り返ることで、苦手パターンを克服し、パフォーマンスが格段に向上します。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～8回目	【歌唱】課題曲① 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング① 【演奏】課題曲① 楽曲のフレーズ・リズムの確認/演奏クオリティをアップするためのトレーニング/撮影・録音による確認①
【前期】 9～16回目	【歌唱】課題曲② 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング② 【演奏】課題曲② 楽曲のフレーズ・リズムの確認/セクションのつながりを意識したトレーニング/撮影・録音による確認②
【前期】 17～24回目	【歌唱】課題曲③ 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング③ 【演奏】課題曲③ 楽曲のフレーズ・リズムの確認/特殊なテクニックとリズムへの対応/撮影・録音による確認③
【前期】 25～32回目	【歌唱】課題曲④ 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング④ 【演奏】課題曲④ 楽曲のフレーズ・リズムの確認/アーティキュレーションへの取り組み/撮影・録音による確認④ 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 33～38回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 39～46回目	【歌唱】課題曲⑤ 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング⑤ 【演奏】課題曲⑤ 楽曲のフレーズ・リズムの確認/演奏クオリティをアップするためのトレーニング/撮影・録音による確認⑤
【後期】 47～54回目	【歌唱】課題曲⑥ 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング⑥ 【演奏】課題曲⑥ 楽曲のフレーズ・リズムの確認/セクションのつながりを意識したトレーニング/撮影・録音による確認⑥
【後期】 55～62回目	【歌唱】課題曲⑦ 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング⑦ 【演奏】課題曲⑦ 楽曲のフレーズ・リズムの確認/特殊なテクニックとリズムへの対応/撮影・録音による確認⑦ 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 63～70回目	【歌唱】課題曲⑧ 調号・スケール・コードの確認/歌詞記入/装飾音の確認/フルコーラス歌唱/スタジオレコーディング⑧ 【演奏】課題曲⑧ 楽曲のフレーズ・リズムの確認/アーティキュレーションへの取り組み/撮影・録音による確認⑧
【後期】 71～74回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	<p>難易度の高いプレイにも挑戦しマスターしていくことで、成果に裏打ちされた自信を身に付けられます。</p> <p>楽曲の構成・アレンジなども分析するとともに、それらを意識した演奏ができるようにし、自身の音楽活動へ反映できるように取り組みましょう。</p>
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	演奏/歌唱 分野別応用実技Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科Ⅱ部 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当	■ 非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・「宝bunebune」のメンバーとしてライブ、ミュージカル、TV、CMなどで活躍。 ・3ピースバンド「フォレストマウス」を率いて、AXIA'03にてグランプリ獲得。 ・サポートギタリストとしても数々のライブやレコーディングに参加。 				
授業概要					
<p>【歌唱】読譜能力を高めて、メイン旋律に対してのハーモニーのヴォイスングを学んでいきます。 1年生で学んだことをさらに発展させていき、総合的な歌唱技術の向上に結び付けていきます。</p> <p>【演奏】既存のスタンダード曲からスタイルを形作っている要素を学ぶことで、ここまで学んできた技術と知識を活用していきます。 コード進行やリズムに対して複合的に取り組んでいき、アンサンブルを意識した演奏のバリエーションを深く学びます。</p>					
到達目標					
<p>【歌唱】メイン旋律に対してハーモニーをつけることが出来るようになります。 また、コーラスワークやアカペラへの発展など、多彩なヴォーカルスタイルに対応できるようになります。</p> <p>【演奏】フレーズやリズムに対する正確さが格段に向上します。また、演奏スタイルのバリエーションが増えるため、アンサンブル等で多彩なアプローチで演奏することが可能になります。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	<p>【歌唱】課題曲①「デュエット曲」 Key = C・F・Gのメロディー譜/ハーモニーの作成とヴォイスング</p> <p>【演奏】ハーモナイズドスケールの組み合わせ/ライティングリズム/リズムコントロールエクササイズ</p>
【前期】 5～8回目	<p>【歌唱】課題曲①「デュエット曲」 インターバル・エクササイズ/メイン旋律とハーモニーの歌唱</p> <p>【演奏】メジャーキーでのIVI進行/ヴォイスリーディングの原理/リズムコントロールエクササイズ</p>
【前期】 9～12回目	<p>【歌唱】課題曲②「ダンス曲」 Key = B b・Dのメロディー譜/ハーモニーの作成とヴォイスング</p> <p>【演奏】ダブルストップ(3度・4度・6度)/シングルノートリズムパート/スタイルを反映したアプローチの実践</p>
【前期】 13～16回目	<p>【歌唱】課題曲②「ダンス曲」 インターバル・エクササイズ/メイン旋律とハーモニーの歌唱</p> <p>【演奏】ボイスング1-5-7-3 のドミナント7th コードの転回形/リズムチャート</p> <p>【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等</p>
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	<p>【歌唱】課題曲③「デュエット曲」 3パートハーモニーの作成とヴォイスング/メイン旋律とハーモニーの歌唱</p> <p>【演奏】メジャー7th の1-7-3-5 ボイスングの転回形とその適用/バラードチューンの演奏</p>
【後期】 24～27回目	<p>【歌唱】課題曲④「ダンス曲」 3パートハーモニーの作成とヴォイスング/メイン旋律とハーモニーの歌唱</p> <p>【演奏】マイナー7th の転回形/アルペジオのリズムチャート/3連符系のリズムコントロールエクササイズ</p>
【後期】 28～31回目	<p>【歌唱】課題曲⑤「ソロ&ハーモニーパフォーマンス曲」 1人1人にソロパートを当て、コーラスも全員で歌唱</p> <p>【演奏】ロックンロールスタイルに根差したアドリブ/バックビートを強調したクラシックファンク</p> <p>【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等</p>
【後期】 32～35回目	<p>【歌唱】課題曲⑤「ソロ&ハーモニーパフォーマンス曲」 1人1人にソロパートを当て、コーラスも全員で歌唱</p> <p>【演奏】トライアドの発展/ブラジル音楽やカントリーなどのリズムバリエーション</p>
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<p>・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価</p> <p>・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)</p>
学生へのメッセージ	<p>1年次に比べて、楽曲の難易度は上がっていきます。</p> <p>また、個人での演奏ではなくアンサンブルとしての精度を磨くことに主眼を置いていますので、アイコンタクト・タイミング・ハーモニーやピッチの正確などを、さらに突き詰めてい授業です。</p>
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	アンサンブルⅡ		授業形態 / 必選	実習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科Ⅱ部 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメソング等で活躍する串田アキラ、宮内タカユキのサポートギタリストを務める。 ・「David Lee Roth BAND」の「Toshi Hiketa」氏の教則DVDのレコーディング、ライブシューティングに参加。 ・現在自己のバンド「selfish square」で活動中。 ・楽器メーカーのモニター・デモンストレーター、アーティストサポート、映画音楽、セッション等多方面で活躍。 				
授業概要					
<p>バンド形態での授業を通して、人とのコミュニケーション、音楽を作り上げていく過程の全てを学んでいきます。 課題曲をライブ演奏に近い状態でアンサンブルするので、技術面のみならず音作りや各パートのバランス調整の実践など、多様な面にアプローチで総合的な音楽力を養います。 他パートの学生との共同作業としてすすめるので、音楽仲間との交流・バンドメンバー探しの機会としても活用することができます。</p>					
到達目標					
<p>他の楽器を聴きながら演奏するため、より実践的なパフォーマンス能力を身につけることができます。 また、アンサンブル授業での演奏から楽曲の構造・アレンジなどを体感し、今後の自身の音楽制作へ反映することができます。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	アンサンブル授業ガイダンス//マイク、ミキサー等、バンドスタジオ内の機材の説明/各パート毎のオリエンテーション 【男子曲①女子曲①】音量バランス/各パートとのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表
【前期】 5～8回目	【男子曲②女子曲②】音量バランス調整/各パートとのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表
【前期】 9～12回目	【男子曲③女子曲③】音量バランス調整/各パートとのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表
【前期】 13～16回目	【男子曲④女子曲④】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	【男子曲⑤女子曲⑤】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表
【後期】 24～27回目	【男子曲⑥女子曲⑥】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表
【後期】 28～31回目	【男子曲⑦女子曲⑦】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	【男子曲⑧女子曲⑧】音量バランス調整/各パートのシンクロ/ダイナミクスのつけ方/ライブ形式発表
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	<p>アンサンブル授業は各コースからなる合同授業です。 人とのコミュニケーションが重要になっていくので、人に対しての伝え方、相手が何を思い演奏しているか、プレイヤーとしてのスキルだけではなく、人としてのスキルも高めていきましょう。 このアンサンブルを通し、より深い音楽の楽しさを体験し、レベルの高いアーティストを目指しましょう。</p>
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	アンサンブル実技Ⅱ		授業形態 / 必選	演習 選択(必)	
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科Ⅱ部 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・Bob James、Ken Navarroなど海外アーティストと数多く共演。 ・大西ユカリ、植村花菜、akikoなどのメジャーアーティストのサポートメンバーとしてツアーやレコーディングに参加。				
授業概要					
「アンサンブル」の授業の課題曲を事前に練習する授業となります。 課題曲はヴォーカルに合わせて男子曲と女子曲の2曲あり、楽器演奏のコースは2曲とも演奏できるように練習します。 演奏上のポイントや具体的な奏法など技術的な指導をすると共に、楽曲分析により曲の理解を深めます。 この授業を通して、楽曲の聴き方や音楽の楽しみ方を学び、人と人が奏でる音楽「アンサンブル」に繋がっていきます。					
到達目標					
楽曲の構造・アレンジなどを理解し、今後の自身の音楽制作に反映させることが出来る。 スタジオでのバンド演奏の前に、楽曲を予習しておく重要性を認識し、十分に練習を積んだ上でアンサンブルに臨む姿勢を身につけることが出来ます。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	【男子曲①女子曲①】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜
【前期】 5～8回目	【男子曲②女子曲②】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜
【前期】 9～12回目	【男子曲③女子曲③】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜
【前期】 13～16回目	【男子曲④女子曲④】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	【男子曲⑤女子曲⑤】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜
【後期】 24～27回目	【男子曲⑥女子曲⑥】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜
【後期】 28～31回目	【男子曲⑦女子曲⑦】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	【男子曲⑧女子曲⑧】曲の仕込み 曲の構成/譜読み/サイズ確認/各パート練習～フルコーラス練習/暗譜
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	アンサンブルはカラオケと違い、一緒に演奏するメンバー全員で楽曲をつくりあげます。 自身のプレイだけでなく、音量バランスや他の人の演奏に意識を向けられるよう、余裕をもった演奏ができるように繰り返し練習しましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	オリジナル制作Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択(必)
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科Ⅱ部 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートキーボードとして、田原俊彦、郷ひろみ、荻野目洋子、浅香唯等々のツアーに参加。 ・楽曲提供、CF音楽、テレビアニメ、ゲーム等の主題歌、BGM制作。 				
授業概要					
メロディー作りやアレンジのテクニックを向上させ、オリジナル楽曲のクオリティアップを目指します。また、コードやヴォイスの精度を上げ、オリジナル楽曲の総合的な完成度の向上に取り組んでいきます。					
到達目標					
各音楽ジャンルのリズムや構造の違いを理解することで、楽曲制作の幅が飛躍的に広がります。また、コードやボーイング、スケールを理解し応用することで、楽曲の表現力をさらにアップさせることができます。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	楽曲制作テーマ「ロック曲」 メジャー・ダイアトニックコードを使っての楽曲制作/テンションコードについての理解を深める
【前期】 5～8回目	楽曲制作テーマ「ダンス曲」 セカンダリー・ドミナントやパッシング・ディミニッシュ、モーダル・インターチェンジ等のノン・ダイアトニック・コードを加えた応用
【前期】 9～12回目	楽曲制作テーマ「バラード曲」 分数コードとスケールについての理解を深め、応用的に活用した楽曲制作
【前期】 13～16回目	楽曲制作テーマ「自由曲」 ここまで知識と技術を応用した、自由テーマでのオリジナル楽曲制作 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	楽曲制作テーマ「映像音楽/オーケストラ」 ストリングスやホーンなどのアレンジやヴォイスの基礎①
【後期】 24～27回目	楽曲制作テーマ「映像音楽/オーケストラ」 ストリングスやホーンなどのアレンジやヴォイスの基礎②
【後期】 28～31回目	楽曲制作テーマ「JAZZ/民族系音楽」 カウンターポイントについての理解を深め、サブメロディーやハーモニーなどのヴォイスを行う 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	楽曲制作テーマ「卒業制作」 ここまで学んだ知識や技術を応用して、自由テーマでのオリジナル楽曲制作
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	1年次よりも高度な理論を身につけて、より完成度の高い作品を作れるように取り組みましょう。ジャンルごとの特徴を理解して、オリジナル曲を制作し、且つ全パートをアレンジすることで、楽曲を総合的にとらえる感覚を養っていきましょう。
使用教科書	授業ごとにテキストプリントや譜面を配布

授業科目名	演奏 歌唱分野別々ゼミ		授業形態 / 必選	講義	必修
			年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	37回(74単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科Ⅱ部 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要					
<p>前期は主に、音楽業界の仕組みや関連業種の仕事内容を理解していきます。中々外からでは仕事内容が伝わりにくい業界の、各職種の特徴と役割を学びます。</p> <p>後期は、楽器等のイクイップメントやアーティスト研究を行いながら、楽園祭や卒業コンサートの企画をし、イベント制作に挑戦します。</p>					
到達目標					
<p>音楽業界の各職業の仕事内容や役割を理解し、音楽ビジネスについての基礎的な知識を身に付けることができます。</p> <p>また、イベントの企画などを通じて、協調性を獲得するとともに、自身の音楽活動に反映させることができます。</p>					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	音楽業界の仕組み プロダクションの働き/レコード会社の働き/音楽出版社とJASRACの働き
【前期】 5～8回目	イベント・コンサート業界の仕組み イベント・コンサートに関わる各セクションの仕事/業界用語と舞台用語
【前期】 9～12回目	音源制作の仕事① CDが出来るまでの流れ/楽曲制作の仕組みとコンペシステム
【前期】 13～16回目	音源制作の仕事② プリプロの重要性/レコーディング作業の流れ/マスタリングとは？/ジャケット制作 【夏季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【前期】 17～19回目	試験対策授業～【前期試験】～前期総復習
【後期】 20～23回目	いろいろなエフェクター講座/楽園祭企画ミーティング
【後期】 24～27回目	アンプ類とドラムの基礎知識/録音や音響機器の基礎講座
【後期】 28～31回目	ジャンル別アーティスト研究/国内アーティスト研究 【冬季特別セミナー】成果発表会 総復習等
【後期】 32～35回目	卒業コンサート企画ミーティング
【後期】 36～37回目	試験対策授業～【後期試験】～後期総復習
評価方法	・前後期の実技試験により評価 課題の達成度/課題への取り組み姿勢/平常点などを総合的に評価 ・90点以上「S」、89～80点「A」、79～70点「B」、69～60点「C」、60点未満「D」、履修放棄「E」、試験不合格「F」(S～C=合格、D～F=不合格)
学生へのメッセージ	ミュージシャンとして必要な音楽関連の幅広い知識を得ることができる授業です。 また、イベント企画などのミーティングを通じて、自発的に行動できる人間へと成長できることを目指しています。
使用教科書	使用プリントをまとめた冊子を1回目の授業で配布